

平成 27 年度からの大学院博士前期課程（一般）の選抜方法の変更について

本研究科では、大学院博士前期課程（一般）の選抜試験において、平成 27 年度入試（平成 26 年度実施）から試験科目を以下のとおり変更します。

外国語（英語）の試験において、外部試験を導入します。なお、当分の間、研究科独自の筆記試験も実施します。

本研究科入試の出願日から遡って 2 年以内に受験した(1)TOEFL-iBT、あるいは(2)IELTS (Academic Module) のいずれか又は両方のスコアのコピーを出願時に提出することが必要となります。上記の外部試験を複数受験した場合、複数のスコア（コピー）を提出できます。試験当日にスコア（原本）を提出してください。

また、外部試験のスコアを提出しても、研究科独自の筆記試験を受験することができます。その場合、選抜にあたっては最も高い評価点を採用します。

※ なお、他の外国語試験（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語）は実施しません。

記

【変更前】

試験区分	科目名	内 容
筆記試験	外 国 語	人間科学専攻：英語、ドイツ語、フランス語のうち 1 科目選択 グローバル人間学専攻：英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語のうち 1 科目選択 (辞書 1 冊持ち込み可 [電子辞書不可])
	専門科目 A	「系」の基礎的知識に関する試験（辞書使用不可）
	専門科目 B	「研究分野」の専門知識に関する試験（辞書使用不可）
口述試験		口述試験受験資格者は筆記試験（外国語試験・専門科目）の成績により決定

【変更後】

試験区分	科目名	内 容
筆記試験	外 国 語	次の①～③のいずれかを選択するものとします。 ① 本研究科実施の筆記試験・外国語（英語）を受験する(辞書1冊持ち込み可[電子辞書不可])。 ② TOEFL-iBT 若しくは IELTS(Academic Module)のいずれか一方又は両方のスコア(成績)の提出により、筆記試験・外国語(英語)を受験しない。 ③ TOEFL-iBT 若しくは IELTS(Academic Module)のいずれか一方又は両方のスコア(成績)を提出し、かつ本研究科実施の筆記試験・外国語(英語)を受験する(辞書1冊持ち込み可[電子辞書不可])。
	専門科目 A	「系」の基礎的知識に関する試験（辞書使用不可）
	専門科目 B	「研究分野」の専門知識に関する試験（辞書使用不可）
口述試験		口述試験受験資格者は筆記試験（外国語試験・専門科目）の成績により決定